2024年2月発行
第３号

蓮華会だより

参与会「蓮華会」

浄土真宗本願寺派
兵庫教区教務所
神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
TEL.078-341-5949　FAX.078-341-8526

年忘れ！蓮華会寄席

12月5日には、神戸別院で「年忘れ！蓮華会寄席」を開催しました。林家染二師匠をお招きして、落語や寄席囃子の楽しい世界を堪能しました。

最初に「心つむぐ落語の世界」と題して染二師匠に講演をいただきました。落語の歴史や種類、技法などについて、わかりやすく面白く説明してくださいました。聞き手の心に響く落語の魅力を感じました。

次に桂三豆さんが「明石飛脚」の落語を披露してくださいました。明石の飛脚が大阪の商人とやりとりする話で、明石弁や大阪弁が飛び交う、笑いの連続でした。三豆さんの巧みな話術に引き込まれました。

続いて師匠と笑福亭呂翔さん・桂二豆さん・はやしや絹代で「ゆかいな寄席囃子レクチャー」を行いました。寄席囃子とは、落語や漫才などの芸に合わせて、三味線や太鼓などの楽器で演奏する音楽です。寄席囃子の種類や役割、演奏方法などを教えていただき、参加者も一緒に楽器を叩いたり歌ったりしました。寄席囃子の楽しさや難しさを体験しました。

最後に師匠の「子別れ」の落語で最後を飾りました。「子別れ」とは、親子の別れを描いた感動的な話です。師匠の繊細な表現と声色で、親子の愛情や悲しみが伝わってきました。涙を流す人も多く見られました。

公演会の後には、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで懇親会が行われました。併せて会員より新たに住職となった方の祝いも行われました。和やかな雰囲気の中で、食事や会話を楽しみました。

「年忘れ！蓮華会寄席」は、笑いと感動に満ちた素晴らしい公演会となりました。

●入会（二〇二二年度～）

堀　祐彰	寺院	阪神南組	西要寺	
吉田　信哉	寺院	岡山南組	法親寺	
㈱井筒法衣店	企業			
田中佛具店	企業	揖龍西組	専龍寺	
宮内　正次	門徒	本願寺神戸別院		
長岡　晃澄	寺院	神姫組	金蓮寺	
㈱福生	企業	本願寺神戸別院		
㈱ＪＴＢ神戸支店	企業	本願寺神戸別院		
荒川　五郎	企業	本願寺神戸別院		
棘　信勝	寺院	神戸東組	正寿寺	
㈱小林朱雲堂	企業	岡山南組	法親寺	
竹久夢二本舗敷島堂㈱	企業	岡山南組	法親寺	
㈱山陽レジン	企業	岡山南組	法親寺	
㈲紅萬	企業	本願寺神戸別院		
松本　隆英	寺院			
寺川　秀哉	寺院	阪神北組	願勝寺	
島田　義寛	寺院	岡山南組	養元寺	
戸田　勲	門徒	播磨東組	正福寺	
エー・ビー・シー開発㈱	企業	本願寺神戸別院		
谷川　美加	寺院	阪神西組	万徳寺	
㈱図書印刷同朋舎	企業			
陽光こども園	寺院	赤穂北組	浄光寺	
小松　勝憲	寺院	姫路東組	浄福寺	
吉田　基毅	門徒	本願寺神戸別院		
㈱石材センター飛鳥	企業	岡山南組	法親寺	

（敬称略）

ご挨拶

蓮華会会長　光森常之

新春を迎え、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申しあげます。

早速ではございますが、今年は「兵庫教区・神戸別院親鸞聖人御誕生８５０年・立教開宗８００年慶讃法要」をお勤めする年であります。この大きな節目にあたり、私たちは、お念仏を申す身にお育ていただいた喜びを、特に時代を担う若い人々に伝えていくことが、本会の使命であると改めて感じております。そのためにも、各種教化団体・組織への活動支援を継続してまいります。

さて、今年の1月1日に能登半島で発生した大地震は、多くの方々に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまには心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興を念じております。本会としても、被災地のご寺院門信徒様や施設に対して、義援金や物資の提供などの支援を行ってまいります。また、被災地からの避難者の方々に対しても、精神的なケアなどの支援を考えております。私たちは、この困難な時期に、お互いに助け合い、共に乗り越えていくことが大切だと考えております。

本年も、会員皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

兵庫教区教務所長　松本隆英

兵庫教区教務所に赴任した際、別院一階ロビーに「兵庫教区参与会蓮華会」として会員名の木札が掲示されているのに気づきました。「蓮華会」について尋ねると「会員同士の親睦を深めるだけでなく、特に幼少年教化団体に支援をする組織」などの説明を聞き、兵庫教区にはこんなすばらしい組織があるのだと感服いたしました。

たまたま赴任前に、本願寺参与会の担当をしておりました。そこで、参与会の役割は重要であることや、会員の中には諸事情でやむを得ず退会する方がおられることから、新規会員を増やしていかなければ組織を維持していけないことを経験しておりました。

兵庫教区でも、まずは会員増に務めなければと思い、会員さんからの紹介や、直接お声がけしたりして、昨年度から新たに二十五名の方が会の趣旨に賛同して入会してくださったことをうれしく思っております。

今後は「蓮華会」独自の活動を、より魅力あるものにしていきたいと思う一方、新規会員を増やして多くの方のお力添えにより兵庫教区の教化活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後とも皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに
衷心よりお見舞い申しあげます

浄土真宗本願寺派　兵庫教区・本願寺神戸別院

浄土真宗本願寺派　たすけあい運動募金「令和6年能登半島地震 災害義援金」受付先

1. 受付口座番号
   - ● 郵便振替　01000－4－69957　加入者名　たすけあい募金
   - ● 銀行振込　銀行　ゆうちょ銀行　店名　一〇九（イチゼロキュウ）店　番号　当座　0069957　名義　たすけあい募金
   - ※通信欄に「能登地震」とご記入のうえ、住所、連絡先、領収書名をご記入ください
2. 問い合わせ先　浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部＜災害対策担当＞　TEL：075-371-5181　Mail：saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

浄土真宗本願寺派 能登半島地震支援センター

支援物資受け入れやボランティア等、最新情報はこちらから確認ください
X〔旧 ツイッター〕　https://twitter.com/hongwanji247
インスタグラム　https://www.instagram.com/hongwanji247/?hl=ja

支援団体の活動報告

兵庫教区寺院子弟連絡協議会

毎年、「全国寺族青年軟式野球大会」や「近畿ブロック寺族青年軟式野球大会」への参加、兵庫教区主催の「得度講習会」にスタッフとして参加をしていたが、新型コロナウイルスにより、中止や延期を余儀なくされ、思うように活動出来なかった。

そこで、会場に集まっての会議や研修会の形式から、ズーム（オンライン会議システム）などを併用しての開催も当たり前となってきていることに伴い、より良い環境でオンラインを利用し参加出来るように、ノートパソコンや大型テレビを購入するなど設備の拡充と充実を図った。

昨年5月に、新型コロナウイルスが5類へと引き下げられたことを受け、10月には4年ぶりに「全国寺族青年軟式野球大会」も開催され、兵庫教区からも2チームが参加し、少しずつコロナ禍以前のような日常が戻ってきている。

今年の5月には、「兵庫教区・本願寺神戸別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えする。この慶讃法要を機縁として、今後は各教化団体と連携を取りながら各種研修会の開催や寺院子弟の顔合わせイベントなどの開催も視野に入れて、京都に在住している大学生などもターゲットとして、活動の活性化に繋げていけるように、次代を担う人材の育成に注力を注いでいきたいと思う。

Zoomを使用しての会議の様子

兵庫教区少年連盟

昨年12月23日（土）、神戸別院で、震災支援「報恩講子どもの集い」を開催した。この「集い」は、阪神・淡路大震災が発生した平成7年から開催されており、今年で29回目となる。当日は、スタッフを含めて約250名が参加した。スタッフには、宗門関係学校である神戸龍谷高校と須磨ノ浦高校の生徒、約20名も参加した。また今年は、4年ぶりに各教化団体から屋台の出店もあり、大賑わいの集いとなった。

午前中は、本堂で式典が行われ、内陣正面に、紙で作ったお花やローソクなどを子どもたちの手でお供えし荘厳が完成した。その後、みんなで正信偈をお勤めし、親鸞さまを偲んだ。

正午からは、子どもたちが楽しみにしていた食事の時間となり、カレーライス、豚汁、焼きそば、サイコロステーキ、たこ焼き、ポップコーンなど多くの屋台が出店され、どの屋台にも長蛇の列が出来、子どもたちは口いっぱいにご飯を頬張りながら美味しそうに食べていた。また、浜屋㈱からもスーパーボールすくいが用意され、多くの子どもが楽しんだ。

食事の後は、アトラクションの時間となり、龍谷大学大学院実践真宗学研究科の皆さんによるジッセンジャーのヒーローショーやゲーム大会が行われ、こどもたちからは「頑張れ!!」などの可愛い声援が飛び交い、大盛り上がりの時間となった。

子ども報恩講

コロナ禍により、なかなか思うような活動が出来ない日々が長く続いたが、久しぶりに多くの子どもたちの笑顔や笑い声が別院に響き渡り、スタッフも楽しいひと時を過ごした。

これからも震災の経験を風化させることなく、「子どもたちに微笑みを」のスローガンのもと、この集いを続けていきたいと思う。

兵庫教区青年僧侶の会　聞法大会

兵庫教区青年僧侶の会には、兵庫教区内の寺院の満20歳以上35歳以下の若手僧侶が正会員として所属している。兵庫教区内を中心に布教伝道活動や幅広い内容での研修会の開催など、浄土真宗の教義を広めつつ、会員同士の交流の場を設けられるような各種活動を行っている。

新型コロナウイルスの影響で、一時活動をほとんど行えずにいたが、会員の努力や教区内寺院からの希望もあり、昨年頃から少しずつ活動を再開することが出来た。それらの活動の中でも特に注力しているのが、教区内寺院を会所として開催する聞法大会である。聞法大会では、布教使3名の法話と楽人3名（篳篥・龍笛・鳳笙）の雅楽の演奏を1つのセットとして開催している。もともとは布教活動にあわせ若手の布教使や楽人が活動の場として始まった大会であったが、次第に教区内の寺院から青年僧侶の会へ依頼が寄せられるようになり、今年度

聞法大会

は既に2大会開催できた。

7月9日に淡路組萬行寺にて第30回聞法大会が、つづいて11月22日に阪神南組西要寺にて第31回聞法大会が開催された。いずれの大会でも本堂いっぱいのご門徒に参拝いただき、法話の聴聞の後、雅楽の演奏にあわせ『紅葉』『夕焼け小焼け』などの童謡を一緒に口ずさまれ、楽しんでいただいた。コロナ禍や生活様式の変化で、人間の社会生活の憩いの場といえるような場所・機会が少しずつ失われる中で、仏法を聴聞できるお寺という空間が必要とされていることを改めて感じることが出来た。

兵庫教区仏教青年連盟

兵庫教区仏教青年連盟は、教区内の若手の門徒・寺族の会員が中心となり活動している団体で、研修会や交流会を開催し、会員相互の親睦を深めている。しかし、新型コロナウイルスにより、兵庫教区担当で準備を進めていた「第3ブッロク仏教青年連盟研修会」など多くの行事が中止となるなど、思うように活動が出来ない日々も長く続いた。そんな現状を打破しようと役員が中心となり、昨年3月に兵庫教区仏教青年連盟研修会「学びと笑い」を開催した。

この研修会は、コロナ禍により前向きな気持ちになれない事も多いが、この研修会を通して、分かりやすく仏教に関心（学び）を持ってもらうと同時にみんなが笑顔（笑い）になれるように、との思いで開催した。

研修会「学びと笑い」

「学び」は、北九州市の永明寺住職で、宗門関係学校で宗教科の教諭も勤められた、松﨑智海先生を講師にお迎えし、先生の著書『『鬼滅の刃』で学ぶ初めての仏教』をテーマに、大ヒット漫画『鬼滅の刃』のストーリーから見えてくる仏教の教えなどを初めての人にも分かりやすくお話しされ、参加者は一同に「学び」を深めた。

「笑い」では、吉本お笑いタレント「モンスーン」と「パーティーパーティー」の2組が漫才を披露。初めてライブで漫才を見た参加者も多くプロの巧みな話術に大きな笑いが起こった。後半は、2組が進行を務めてゲーム大会を開催し、吉本新喜劇のペアチケットなどの豪華景品も用意されるなど、終始「笑い」が絶えなかった。

今年は、春休み期間の3月24日（日）に開催する。この研修会を通して、一人でも多くの人にご縁を繋げ、仏青活動に興味を持ってもらい、仲間が語り合える「居場所づくり」を提供できればと思う。

兵庫教区保育連盟

兵庫教区保育連盟は、保育園、幼稚園、認定こども園の40園にて組織されています。

活動方針としては、宗派保育連盟のスローガン「親鸞聖人の生き方に学び、まことの保育を広めよう」及び研修テーマの「思いやり 支え合い ともに育ち合う」～阿弥陀さまの御心・願い・利他心～と共に教区のスローガン並びに研修テーマ「伝えよう まことの保育　育てよう　仏の子ども」を掲げて活動しています。主な活動内容をご紹介します。

（園児向け）

【卒園参拝】

まことの保育を受けてきた園児が、共に阿弥陀さまのもとに集い卒園の報告と同時に、卒園後も礼拝のできる「ほとけの子」をめざすことを趣旨として開催しています。

【お祝いのことば】

入・卒園式にて、園児及び保護者への「お祝いのことば」を風船に付けて送っています。

【コロナ禍に卒園した園児への記念品】

コロナ禍において、通年の行事の中止や縮小等となったため、「最後は笑顔で卒園をしてほしい」との願いを込めて加盟園全卒園児（約1000名）に記念品を贈りました。

記念品

（先生・職員向け）

【新任研修会】

仏教園に入園された先生及び職員を対象に、仏参作法や真宗のおしえ、マナー講習の研修会を行っています。

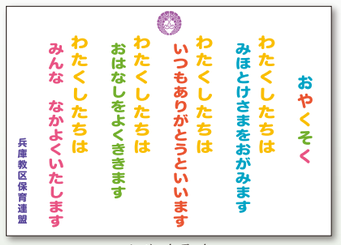
【まことの保育連続研修会】

研修委員を中心に企画された研修会を、年に3～4回程度開催しています。

（来園者向け）

【おやくそく掲示ポスター】

園児が、礼拝時に唱和いたします「おやくそく」を保護者及び来園者の方にも周知することを目的として掲示用ポスターを作成しました。



おやくそく